

令和2年度 自己評価報告書の概要

令和3年5月31日

呉竹鍼灸柔整専門学校

目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価.....	1
基準 1 教育理念・目的・育成人材像	2
基準 2 学校運営.....	3
基準 3 教育活動.....	4
基準 4 学修成果.....	5
基準 5 学生支援.....	6
基準 6 教育環境.....	7
基準 7 学生の募集と受入れ	8
基準 8 財務	9
基準 9 法令等の遵守.....	10
基準 10 社会貢献・地域貢献.....	11

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	令和2年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題等を踏まえた令和3年度重点目標
<p>I 教育理念 伝統医療教育の質向上とその振興に努め、伝統医療を通じて人々の保健衛生福祉に寄与するとともに、伝統医学のさらなる発展及び普及・啓発に貢献することを教育理念とする。</p> <p>II 教育目標 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師及び柔道整復師として十分な知識・技術・臨床力を身につけ、柔軟な思考力を持った全人的な医療を施すことができる懐の深い医療人を育成する。</p> <p>III 育成人材像 (1) 医療人としての人格を備え、患者中心の医療を実践できる人材 (2) 他職種と連携・協働し、地域医療に貢献できる人材 (3) たゆまぬ研究心と探求心を持って自己研鑽に努め、広く社会に貢献できる人材</p>	<p>(1) 新型コロナウイルスに関連した学生支援体制の整備 ①全館Wi-Fi環境の整備 ②衛生環境の整備 ③WEBを活用した教育サービス、学習支援等の提供 ④遠隔授業、短縮授業等に伴う学修計画の見直し ⑤心理カウンセラーの設置の検討</p> <p>(2) 教育成果の質の向上 ①アウトカム基盤型教育の強化 ②初年次教育の強化 ③臨床実習の強化</p> <p>(3) 就職率の向上 ①新しい求人システム「キャリアマップ」の登録及び利用促進 ②Googleクラスルームを活用した就職支援</p>	<p>(1) 新型コロナウイルスに関連した学生支援体制の整備 ①全館Wi-Fi環境を整備した。 ②安全対策委員の諮問及びマニュアルに基づき、必要な衛生対策を講じた。 ③Googleクラスルームを活用し、遠隔授業や補習を実施した。 ④当初の学修計画の変更を余儀なくされたが、令和2年度の教育カリキュラムを無事全うした。 ⑤令和3年度から導入する計画を策定した。</p> <p>(2) 教育成果の質の向上 コロナ禍での制約の影響を受けたことから、左記①～③について、これまで以上の成果は示せていない。</p> <p>(3) 就職率の向上 令和3年5月時点の就職率は95.7%で高水準を維持できた。一方、キャリアマップの登録利用の促進が課題となっている。</p>	<p>(1) デジタル化の推進 ①遠隔授業やクラウドシステムを安定的に供給するためのIT環境の整備整備 ②スマホ学生証の導入 ③WEB出願システムの検討 ④学籍管理システムの検討</p> <p>(2) 学修成果の指標の向上 以下により、国家試験合格率、就職率、卒業率、中退率等の関連する指標の改善を図る。 ①学修に対する動機形成や意欲向上を図るため、実習科目を中心にアクティブラーニング（能動的学習法）の導入を計画する。 ②学生満足度調査を実施し、本校の教育活動の課題等を把握する。 ③業界及び学生のニーズ等を踏まえたゼミやキャリアガイダンスを企画する。 ④令和3年度から実施する、心理カウンセラーの設置、スポーツトレーナーアカデミーの開講、入試における学科試験の導入に関する成果と課題を検証する。</p>

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は、理念等に基づき、伝統医療を通じて人々の健康の保持増進及び疾病・障害の治療を担うことのできる「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師、柔道整復師」を育成するために、知識、技術、態度といった基本的臨床能力の修得に加え、変化する社会環境・社会構造に対する問題解決力、多様な社会ニーズ、患者ニーズに対応できる臨床力を涵養するとともに、医療従事者に必要な倫理観、使命感、ホスピタリティー等の人間力を高め、患者貢献を实践できる人材育成を目指している。</p> <p>これらの教育理念、目的、育成人材像、教育方針は教務規程に明記しており、学校案内パンフレットやホームページ等を利用し、広く周知を図っている。</p> <p>本校は、業界団体、学会、学校協会と教育活動等において連携することで、業界の動向やニーズの把握に努めるとともに、それらを教育現場にフィードバックすることにより教育の質の向上を目指している。</p> <p>理念等の達成に向けて、本校が設置する「鍼灸マッサージ科」、「鍼灸科」、「柔道整復科」はいずれも職業実践専門課程の認定を受けており、特色ある実践教育に取り組んでいる。</p> <p>中期的な将来構想においては、教育活動の質の担保を図るために第三者評価の受審を計画しており、そのために必要な諸規程の整備及び内部統制の浸透に努めていくことを中期的な目標に掲げている。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【1-1】理念・目的・育成人材像</p> <p>1 理念・目的・育成人材像は定められているか</p> <p>2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか</p> <p>3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか</p> <p>4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか</p> </div> <p>○設置するすべての全学科において「職業実践専門課程」の認定（平成 26 年 3 月 31 日・文部科学省告示第 133 号）を受けている。</p>

基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理念等を達成するために、寄付行為に基づき設置法人の理事会において運営方針を決定している。月次で開催する校長会では、学校運営における重要事項を審議・決定するほか、運営報告において姉妹校と情報共有を図りながら教育活動を展開している。姉妹校を含む各学校の運営は、それぞれの学校の教育目標を達成するために、事業計画に基づいて学校運営が為されている。本学園は、同一の医療専門課程を設置する3つの学校から構成されているため、姉妹校の教育資源や人材資源等のスケールメリットを活用しやすい組織体制となっている。</p> <p>本校の運営においては、教育活動等を円滑に遂行するため、学則に規定する委員会等を組織し、学校運営に関する進捗管理を行い、議事録に残している。</p> <p>人事・給与については、就業規則及び給与規程に基づいて決定している。組織の活性化や人材育成を推進していくため、新しい人事制度の導入に向けて人事評価研修を実施し、試験運用を行っている。</p> <p>意志決定システムについては、文書決裁規程に基づいて原義書により決裁過程を明らかにしている。</p> <p>情報システム化への取り組みについては、学園内にVPN（ヴァーチャル・プライベート・ネットワーク）を構築し姉妹校間のネットワーク網を整備するとともに、成績管理システム、学生募集クラウドシステム、求人システム、会計システム等を導入し、業務の効率化を図っている。これらのセキュリティ対策については、ウイルス対策ソフトに加え、専用のセキュリティゲートを設置し、学内外からの攻撃を監視し、情報漏洩及び防疫の対策を施している。また、デジタル人材を育成するため、学園内にDX（デジタルトランスフォーメーション）委員会を設置し、デジタル化やICT化による教育の質の向上、業務効率化に取り組む。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【2-2】 運営方針 1 理念等に沿った運営方針を定めているか</p> <p>【2-3】 事業計画 1 理念等を達成するための事業計画を定めているか</p> <p>【2-4】 運営組織 1 設置法人の組織運営を適切に行っているか 2 学校運営のための組織を整備しているか</p> <p>【2-5】 人事・給与制度 1 人事・給与に関する制度を整備しているか</p> <p>【2-6】 意思決定システム 1 意思決定システムを整備しているか</p> <p>【2-7】 情報システム 1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか</p> </div> <p>○設置校 ・東京医療専門学校 ・呉竹鍼灸柔整専門学校 ・呉竹医療専門学校</p> <p>○附属施設（専門部署） ・東洋医学臨床研究所 ・呉竹学園教育センター ・呉竹学園臨床教育研究センター ・Kuretake 塾 ・教育戦略プロジェクト ・呉竹メディカルクリニック ・コンプライアンス委員会 ・研究倫理委員会 ・危機管理委員会 ・創立 100 周年記念プロジェクト</p>

基準 3 教育活動

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育課程の編成方針は、カリキュラム・ポリシーに則り策定し、教育到達レベルはディプロマ・ポリシーに明示するとともに、資格者を養成するための教育課程及び組織体制を構築している。</p> <p>教育課程の編成にあたっては、設置課程毎に教育課程編成委員会を開催し、外部の意見を活用しながら、業界ニーズとリンクするように適宜見直しを行っている。また、学外実習やキャリアガイダンス、企業説明会等を通して、キャリア形成の支援を図っている。授業評価については、組織的に教授力を高めていくため、授業評価項目の設定、検証、フィードバック方法等について見直しを図ることを検討課題としている。</p> <p>成績評価の基準は、学則及び教務規程に規定し、学生便覧やシラバス等で学生に周知している。成績評価は、平素の学業成績・出席率等を基に教務会の議を経て校長が決定し、議事録に記録している。在校生の研究成果等は、関連団体の学術大会等で発表を行っている。</p> <p>目標とする資格取得は理念等に明示し、ホームページや入学案内等で広く周知されている。資格取得の指導体制では、国家試験全員合格を目標に掲げ、3年生の教科担当者を中心に学修サポートを行うとともに、学力不安のある学生に対しては、補習、補講、個別面談等を行い、学力の底上げを図っている。国家試験不合格者へのフォローでは、卒業後も授業を無料で聴講できる聴講生制度や国家試験対策に特化した Kuretake 塾（有料）を利用する制度を設けている。</p> <p>教員はすべて採用時に関係法令に基づく資格証明書の提出を義務付けており、法令で定める必要な教員数を確保するとともに、教員研修会や組織的なFD活動等を通して教員の資質の向上に努めている。教員の組織体制は、「教育職員組織及び職制並びに業務分掌規則」に基づき、各学科の責任者である科長が教務を監督している。</p>	<p>【3-8】 目標の設定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか 2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか <p>【3-9】 教育方法・評価等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか 2 教育課程について外部の意見を反映しているか 3 キャリア教育を実施しているか 4 授業評価を実施しているか <p>【3-10】 成績評価・単位認定等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか 2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか <p>【3-11】 資格・免許の取得の指導体制</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか 2 資格・免許取得の指導体制はあるか <p>【3-12】 教員・教員組織</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 資格・要件を備えた教員を確保しているか 2 教員の資質向上への取組を行っているか 3 教員の組織体制を整備しているか

基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職率は、就職希望者の卒業時就職率 100%を目標に、学生の主体的な就職活動を支援するため、キャリアガイダンスや企業説明会等を開催している。令和 2 年度は、コロナの影響により就職活動の始動が全体的に遅れたものの、就職希望者に対する就職率は 95.7%と目標に近い成果を残すことができた。</p> <p>資格取得率については、国家試験合格率 100%を目標に掲げ、試験や補習等により国家試験対策を行っている。令和 2 年度の国家試験合格率は、あん摩マッサージ指圧師 100%、はり師 88.4%、きゅう師 91.3%、柔道整復師 73.3%で全国平均を上回る結果であったものの、国家試験の傾向について新カリキュラムの影響が考えられることから、引き続き国家試験対策の検証を行うこととした。</p> <p>卒業生の社会的評価については、学会等での学術発表や学術雑誌への掲載、校友会組織「呉竹会」や求人企業との情報交換、学校広報誌の取材等を通して把握している。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【4-13】 就職率</p> <p>1 就職率の向上が図られているか</p> <p>【4-14】 資格・免許の取得率</p> <p>1 資格・免許取得率の向上が図られているか</p> <p>【4-15】 卒業生の社会的評価</p> <p>1 卒業生の社会的評価を把握しているか</p> </div>

基準5 学生支援

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職支援は、3年次の担任教員と事務担当者が中心となってキャリアガイダンス・合同企業説明会の開催、求人案内、進路状況調査等を実施している。</p> <p>中途退学については、毎年度退学者の要因や傾向等を把握し報告している。令和2年度の退学者率は8.0%で昨年度の4.9%よりも大幅に増えたが、これはコロナ禍での経済状況の悪化や登校制限、オンライン授業などにより進路変更を希望する者が増えた事が影響したと考えられる。特に、1年生の退学者が増加していることから、コロナ禍における初年次の学修支援、学校生活の支援策について早期の対策を図ることとした。</p> <p>学生相談は、担任・副担任が中心となり、複数の教員で相談に応じられる体制をとり、相談記録は教務にて管理している。また、学費や奨学金、就職、ハラスメントなど学生生活全般に関する相談窓口は事務局に設置している。心理的な相談については、令和3年度からスクールカウンセラーを設置する計画となっている。</p> <p>学生の経済的支援では、独自の奨学制度、特待生制度、授業料減免制度を設けているほか、修学支援制度の対象校となっている。また、鍼灸マッサージ科午後コースと鍼灸科特修コースは専門実践教育訓練給付の指定口座となっている。健康管理では、法令に基づいて学校保健計画を定め、健康診断、胸部X線検診を毎年度実施している。遠隔地出身の学生に対しては、提携学生寮を案内している。課外活動については、コロナ禍での活動制限のため十分な活動ができていない。</p> <p>保護者との連携では、保護者に対して教育活動等の情報提供を行い、成績不良や出席欠席がちな学生に対しては保護者と連絡をとり、必要に応じて三者面談等を実施している。</p> <p>卒業生への支援では、卒後のキャリアアップを支援するため、企業等の外部講師による年4回の卒後臨床講習会を開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため実施は見送られた。社会人の受入体制では、働きながら通学できるニーズに応えるため、午前と午後の半日のコースを設定し、社会人入試を実施している。</p>	<p>【5-16】就職等進路</p> <p>1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか</p> <p>【5-17】中途退学への対応</p> <p>1 退学率の低減が図られているか</p> <p>【5-18】学生相談</p> <p>1 学生相談に関する体制を整備しているか</p> <p>2 留学生に対する相談体制を整備しているか</p> <p>【5-19】学生生活</p> <p>1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか</p> <p>2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか</p> <p>3 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか</p> <p>4 課外活動に対する支援体制を整備しているか</p> <p>【5-20】保護者との連携</p> <p>1 保護者との連携体制を構築しているか</p> <p>【5-21】卒業生・社会人</p> <p>1 卒業生への支援体制を整備しているか</p> <p>2 産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか</p> <p>3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか</p>

基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の施設・設備はすべて関係法令の基準に適合し、且つ教育上の必要性に対応した施設になっている。施設・設備のメンテナンスについては、法定点検及び定期点検の結果に基づいて計画的に改修工事、設備更新を行っている。コロナ禍での遠隔授業等に対応するため、全館Wi-Fi環境を整備した。</p> <p>学外実習については、対象施設を増やして学外での臨床実習の機会を拡充させた。また、海外研修では、希望者を対象に上海中医薬大学への短期留学を毎年実施しているが、令和2年度については新型コロナウイルス感染症対策のため短期留学は中止となった。</p> <p>防災に関しては、消防計画及び危機管理マニュアルに基づき、災害時の体制を組織し、学生及び教職員の防災訓練を毎年実施するとともに、災害時の備蓄品の充実を図っている。</p> <p>安全管理体制では、学校安全計画に基づいて毎学期、校舎施設、設備、教育備品等の点検を実施し、不具合等の確認及び修繕を行っている。学校生活におけるケガや事故への対応のため、学生生徒災害傷害保険及び医療分野学生生徒賠償責任保険、24時間共済保険等に加入している。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として、学園内に安全対策委員会を設置し感染拡大防止の体制を整えるとともに、年間を通じて感染防止を徹底したことにより、在校生・教職員の校内感染の抑止に成功した。</p>	<p>【6-22】施設・設備等</p> <p>1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか</p> <p>【6-23】学外実習・インターンシップ等</p> <p>1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか</p> <p>【6-24】防災・安全管理</p> <p>1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか</p> <p>2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか</p>

基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集活動における高等学校への情報提供では、入学案内パンフレットや学生募集要項等の配布に加え、高校訪問や進路ガイダンスにおいて、進路指導教諭・担任教諭に学校情報や入試に関する情報提供を行っている。学生募集の時期や方法については、神奈川県専修学校各種学校協会の入試倫理規程を遵守して適切に実施している。</p> <p>学生募集活動を効果的に実施するために、ホームページ、SNS、パンフレット、チラシ、WEB 媒体、紙媒体等のさまざまな広報ツールを活用している。また、コンサルタントの助言を得て、学校説明会やオープンキャンパスでのプレゼンテーションやプログラムの内容について作業部会にて適宜見直しを図っている。学生募集における情報管理では、学生募集の効率を高めるため、クラウドシステムを活用して一元的に管理している。</p> <p>入学選考においては、入試委員会規程において選考基準を定めており、入試の判定については入試委員会の議を経て校長がこれを決定し、その結果を議事録に保存している。入試に関するデータ及び募集状況については、校長会にて定期的に報告し、次年度の募集活動や入学試験の見直しに役立てている。</p> <p>学納金は、同分野の学校の水準を把握した上、経費内容に基づいた学納金とするため、令和 2 年 4 月入学生から新しい学納金体制とした。入学辞退者に対する授業料等の返戻については、学則及び募集要項に明記している。</p>	<p>【7-25】学生募集活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか 2 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか <p>【7-26】入学選考</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか 2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか <p>【7-27】学納金</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか 2 入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか

基準 8 財務

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の財務基盤は、少額のリース契約を除いて借入金は無く、繰越利益金はプラスで推移している。人件費等の固定費比率についても適正な範囲に収まっているため、中長期的に安定した財務基盤となっている。一方で、全国の養成施設は供給過多の状態にあり、少子化や修学支援制度による大学等への進学希望者の増加、社会人の入学志願者の減少などにより、学納金収入が減少しており、今後の持続的な定員確保が課題となっている。</p> <p>予算・収支計画については、教育目標や事業計画に基づいて理事会で決定し、執行管理についてはクラウド会計システムにより法人事務局にて管理している。</p> <p>監査は法令に基づき每期実施し、理事会において監査報告を行うとともに、毎年度、監査法人によるチェックと指導を受けている。</p> <p>財務情報の公開については、情報公開規程に基づき、財務諸表をホームページに公開している。</p>	<p>【8-28】財務基盤</p> <p>1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか</p> <p>2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか</p> <p>【8-29】予算・収支計画</p> <p>1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか</p> <p>2 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか</p> <p>【8-30】監査</p> <p>1 私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか</p> <p>【8-31】財務情報の公開</p> <p>1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか</p>

基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は、関係法令及び設置基準等に基づいて、監督官庁等への報告、申請、届出等を行うとともに、学校運営に必要な諸規程を整備し、適正な学校運営に努めている。ハラスメント防止に関する取り組みでは、ハラスメント防止規程に基づき相談窓口を設置するとともに、ハラスメント防止の啓発を行っている。コンプライアンスの遵守では、自己点検の実施と合わせて、法人において弁護士、監査法人と契約を締結して必要な対応を取っている。</p> <p>個人情報保護に関しては、個人情報保護規程に基づき、情報漏洩防止の観点からデータの取り扱い等のルールを策定し運用するとともに、ホームページにプライバシーポリシーを公開している。</p> <p>学校評価における取り組みでは、平成 21 年から自己点検・自己評価を実施し、その結果をホームページに公表するとともに、平成 24 年から関連業団体の有識者、企業等の役職者等の学校関係者による学校評価を行い、その結果をホームページに公表している。</p> <p>教育情報の公開に関しては、文部科学省の「専門学校における情報提供等の取組に関するガイドライン」に沿って、ホームページや学校案内パンフレット等で公表している。また、令和元年度から修学支援に関する法律の機関要件確認申請に伴い、成績評価における GPA（グレード・ポイント・アベレージ）や実務経験のある教員の授業科目、役員名簿、財務情報など、教育活動と学校運営に関する詳細情報を公表している。</p>	<p>【9-32】関係法令、設置基準等の遵守</p> <p>1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか</p> <p>【9-33】個人情報保護</p> <p>1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか</p> <p>【9-34】学校評価</p> <p>1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか</p> <p>2 自己評価結果を公表しているか</p> <p>3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか</p> <p>4 学校関係者評価結果を公表しているか</p> <p>【9-35】教育情報の公開</p> <p>1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか</p>

基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献では、地域住民の方の健康の維持増進に資するため、本校附属の施術所において年間延べ 1,500 人以上の患者を受け入れている。例年開催しているチャリティー鍼灸・チャリティーマッサージの施術イベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。</p> <p>学校の施設は、関係協会や団体等から要請があった場合には、講習会等の会場として校舎施設を開放している。</p> <p>国際交流では、学术交流及び医学知識・技術の研鑽を目的に上海中医薬大学短期留学を毎年度実施しているが、令和 2 年度はコロナ禍のため中止となった。</p> <p>ボランティア活動では、神奈川県体育協会主催の陸上競技やハンドボール大会におけるメディカルサービスステーションのボランティア活動に学生と教員を派遣しているが、令和 2 年度はコロナ禍のため派遣は見送られた。</p>	<p>【10-36】社会貢献・地域貢献</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 2 国際交流に取り組んでいるか <p>【10-37】ボランティア活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか